

環境・観光産業常任委員会からの意見と対応

No.	該当箇所	意見	対応
1	【P70～P74】 第4章 全体	最後の第4章に、課題やまとめが具体的にでてくるべきではないか。	第4章に具体的な課題や検討、将来を描く展望などを記載いたしました。
2	【P37】 第2章 1.3)	方針1の「魅力のあるまち」のところに、できれば歴史という言葉を入れてほしい。	次のとおり、 〈方針1〉魅力のあるまち <u>町の歴史的資源や環境を活かしたまちの形成</u> を追加しました。
3	【P47】 第2章 2.2) (3)	バリアフリーのことに关してある程度あった方が、こういうまちづくりなのだというイメージが町民の皆さんには分かりやすいと思う。	次のとおり、 <u>誰もが安全に安心して通行できるようバリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した歩行空間を確保・整備していくとともに、長時間・長距離の歩行などにも対応してベンチの設置や植樹などによる木陰の創出など、休憩スペース・空間の整備を進め、快適に移動できる歩行環境づくりを進めます。</u> <u>高齢者、障がい者、妊産婦などが安心して日常生活や社会生活が出来るよう、施設整備だけではなく、町民の社会参加に積極的に協力する心のバリアフリーが重要となることから、日ごろからの声かけ・サポートなど、心のバリアフリーを普及していきます。</u> を追加しました。
4	【P47】 第2章 2.2) (3)	町内で休憩する場所をもう少し充実していく考えがあるなら、ベンチを設置する旨の記載をするべきだと思う。	次のとおり、 <u>誰もが安全に安心して通行できるようバリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した歩行空間を確保・整備していくとともに、長時間・長距離の歩行などにも対応してベンチの設置や植樹などによる木陰の創出など、休憩スペース・空間の整備を進め、快適に移動できる歩行環境づくりを進めます。</u> を追加しました。